

令和6年度特別の教育課程の自己評価結果について

中泊町立薄市小学校

本校は、中泊町教育委員会が掲げる「中泊町教育イノベーションプロジェクト」の1つとして町内各校に先がけてメタバースを活用した英語学習に取り組んでいます。

教育イノベーションプロジェクトとは、20年後を見据えた新教育として、町が重要視している施策の一つです。

今年度初めて教育課程特例校を申請し、5・6年生は週1時間のグローバル科を新設しました。グローバル科とは、メタバースを活用したオンライン英語学習を行う科目のことで、週2時間（年間70時間）の総合的な学習の時間から週1時間（年間35時間）を減じてグローバル科の時数としています。

<本年度の主な取組・成果>

①ネイティブスピーカーとの少人数レッスン

- ・一人の講師につき2人グループで参加したため、直接発音を聞いてもらえたり、声をかけられたりできたことで、積極的に活動できる子が増えました。

② phonics をレッスンに導入

- ・文字と音声の関係性を学ぶ音声学習法である phonics を導入することで、発音が良くなったり、活動に自信がついたりする子が出てきました。

③ライブツアーなどでの交流体験

- ・実際に目の前に広がる外国の光景に驚くと共に、つたない英語であっても相手に伝わる喜びを感じたり、さらに詳しく知りたいと思ったりする子が出てきました。

④外国語科や外国語の時間での学習内容との関連性の強化

- ・メタバース英語で使われている英単語や構文については随時確認し、担当者と連絡を取り合いながら、子ども達にとって負荷がかかりすぎないようにすすめたことで意欲をなくすることなく学習を継続できました。

⑤パフォーマンステストの実施

- ・子ども達にとって任意の受験ではありますが、英語での応答の場を設定しました。

⑥町教研公開授業研究大会などでの実践

- ・機会を捉え、学習している様子について実際にみていただきながら様々な視点からメタバース英語の進め方等について見つめ直すことができました。

<今後の課題・展望>

①町内一斉メタバース英語スタートに向けて

- ・今年度の成果及び課題の共有とトラブル事例や対処法の整理、担任の役割、より効果的に学べるカリキュラムの工夫が必要だと考えています。

②保護者への情報発信への取組

- ・具体的に学習のイメージをもてるような情報の多様な発信の工夫を考えたいです。

③コミュニケーションスキルの向上を目指す交流場面の設定

- ・既習の会話構文や単語などをもとにした具体的交流場面を設定するなど、英語による会話への不安をやわらげる学習計画に留意したいです。

今年度は、貴重な機会を得て英語に特化した学習活動を行い、子ども達のコミュニケーション能力も大きく向上できました。今後も更なるレベルアップを図るべく、日々の指導に努めていきたいと考えています。

各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動及びグローバル科の授業時数等
[学校名 中泊町立薄市小学校]

領域		学年		1年	2年	3年	4年	5年	6年
		教科等	時数	年間時数	年間時数	年間時数	年間時数	年間時数	年間時数
教科	各	国語		318	321	257	255	183	180
		社会				74	95	105	105
		算数		149	181	187	185	183	180
		理科				93	109	110	105
		生活		108	108				
		音楽		68	70	60	60	50	50
		図画工作		68	70	60	60	50	50
		家庭						60	55
		体育		105	105	105	109	92	90
		外国語						70	70
特別の教科 道徳				34	35	35	35	35	35
外国語活動					35	35			
総合的な学習の時間					70	70	35	35	
学級活動				34	35	35	35	35	35
グローバル科							35	35	
合 計				884	925	1011	1048	1043	1025
実施 期間	期 間	4月1日～3月31日							
	始業時刻	8時 00分							
	総退下時刻	15時 35分							
備 考	クラブ活動	実施学年	4年 ～ 6年				年間授業時数	8時間	
	<日課表と授業時間の弾力的運用に関わって> ・令和6年度における教育課程特例校を申請し、5・6年の総合的な学習の時間を35時間減じて、グローバル科35時間を新設する。								